

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		図書館蔵書整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会	課長名 西川 正則
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 森田 由貴恵
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備		所属班	図書館班	(内線) 2511
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	図書館法・合志市立図書館設置条例
	1	10	5	8			成果優先度評価結果 3 コスト削減優先度評価結果 8
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 7 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館資料収集基本方針及び資料廃棄基準に基づき、図書・雑誌・視聴覚資料(ビデオ・CD・DVD・カセットテープ)等の購入や除籍(廃棄)を行う。 西合志館・合志館は平成7年度、泉ヶ丘館は平成9年度に開館。開館に先駆け、各館開館前年度から事業を開始。開始時は資料の購入ばかりで、廃棄作業はほとんどなかったが、5~6年前から書庫がいっぱいになってきたため、破損や紛失等以外の廃棄資料数が多くなってきている。 また、市の財政難から資料費の削減が行われており、より有効な資料の活用について更に考慮していかなければならなくなっている。
【業務の流れ】	具体的な図書の発注は、主に業者からの見計らい、課内の選書委員会でリストを見ながら選定したもの、利用者からの購入希望のものを参考に行うやり方がある。雑誌は休刊・廃刊になったものは別として、年に1度利用者からの要望も考慮し、見直しをする。視聴覚資料については、選書委員会でリストを見ながら選定する。 ・除籍(廃棄)は定期的に行うものと、破損や紛失によってその都度行うものがある。
【主な予算費目】	備品購入費、需用費(消耗品費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	新刊や購入希望の本はなるべく早く提供してほしいとの要望がある。 H22合志市の図書館は充実していると思うが、本が大好きなので更なる充実を望む。 平成22年9月文教常任委員会において、「目標達成度評価」を達成した年間貸出数に訂正すべきとの指摘があった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・資料の購入、データ装備。資料の除籍(廃棄)	21年度と同様
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) (単位)
⇒ ア 受入数	点 点
イ 除籍数	点
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志市民および合志市通勤・通学者、図書館来館者	⇒ ア 合志市人口 人
	⇒ イ 図書館利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
市民や利用者のニーズに応じて適正に資料を揃え、管理する。	⇒ ア 年間貸出数 点
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
・年間貸出数より、図書館資料が有効に活用されているか把握できるため。 ・利用が年々増加することが望ましいため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	点	22495	17520	20000	21167	19000	19000	19000	
	イ	点	8441	12298	10000	11969	9000	9000	10000	
⑤ 対象指標	ア	人	54175	54407	54500	54856	54900	54900	56829	
	イ	人	145886	129926	145000	127668	145000	145000	145000	
⑥ 成果指標	ア	点	595552	632113	600000	624849	600000	600000	600000	
	イ									
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	123	174	100	88	70	100	100
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	30,685	23,909	26,422	26,169	26,380	26,422	26,422	
	(A) 事業費計	千円	30,808	24,083	26,522	26,257	26,450	26,522	26,522	
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円							0	
人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	6	
	延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,220	1,000	1,000	1,000	
	(B)人件費計	千円	3,970	4,000	3,980	4,856	3,980	3,980	3,980	
トータルコスト(A)+(B)		千円	34,778	28,083	30,502	31,113	30,430	30,502	30,502	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

合志市

事務事業名	図書館蔵書整備事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷	利用者数は目標値に達成しなかったが、年間貸出数は達成した。しかし、20年度の貸出数より減少している。原因として、新型インフルエンザの発症と流行が考えられる。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	年間貸出数の増減は、新型インフルエンザの流行状況に影響される。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	展示や情報提供の充実により、利用者へのサービスを向上させる余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	図書館以外に幅広い資料を収集する事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	図書館以外に幅広い資料を収集する事業は他にない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	開館日、開館時間が現状のままであれば、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	図書館利用者とそうでない住民に利益の差がある。ただし、幼稚園・保育園・小中学生は園や学校・授業を通し、比較的公平に受益機会がある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	選書に偏りがないよう利用者の知的要求に可能な限り応じるよう、選書委員の質の向上に常に努めている

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>展示コーナーは好評で、利用し易いとの声もある。今後も、選書と併せて工夫していく。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>社会情勢を反映したコーナー作りをし、利用者が望む資料を速やかに提供できる環境づくりに努める。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>展示や情報提供の充実により、利用者へのサービスを向上させる余地がある。</p>																						